平成二十九年度

小学校　第五学年　国語調査票

組
出席番号
氏名

注意

一　放送による合図があるまで、中を開かないでください。

二　調査票（ちょうさひょう）は、１ページから17ページまであります。

三　先生の指示（しじ）があったら、最初に、組、出席番号、氏名を書いてください。

四　答えは、それぞれの［　］の中、または問題で指示された場所に、はっきりと書いてください。

音声問題台本（小学校　第五学年　国語）

これから、放送を聞いて答える問題を行います。問題用紙の一ページ目を開いてください。

広島小学校の田中さんは、総合的な学習の時間に、地域のために活動している人について調べています。今回は、学校の近くにある広島川でホタルを守る活動をされている「ホタルを守る会」の山本さんにインタビューをすることにしました。インタビューをしている様子の一部を放送します。

放送は二回繰り返します。大事だと思うことはメモをとりながら聞きましょう。

よく聞いて、問題に答えてください。それでは、始めます。

田中さん	こんにちは、広島小学校の田中です。わたしたちは、総合的な学習の時間に、地域のために活動してくださっている人について調べています。山本さんは、広島川のホタルの数が減らないようにするために、ホタルを守る会をつくり、活動されているとお聞きしました。そこで、ホタルを守る会ではどのような活動をされているのかなど、お話をうかがいに来ました。山本さん、よろしくお願いします。
山本さん	こちらこそ、よろしくお願いします。
田中さん	まず、ホタルを守る会は、いつごろから活動されているのか教えてください。
山本さん	活動を始めたのは平成十三年からです。今年で十六年目になりました。
田中さん	わたしたちが生まれる前から活動されているのですね。次に、ホタルを守るために、いつもどのような活動をされているのか教えてください。
山本さん	わたしたちがしている主な活動は二つあります。一つ目は、川の水のよごれを調べることです。二つ目は、川の中に落ちているゴミを拾うことです。ホタルはきれいな水のある場所に集まり、たまごを産むからです。
田中さん	とても大変そうな活動ですね。川の水のよごれを調べるとおっしゃいましたが、どのような方法で調べているのですか。
山本さん	川の水のよごれについては、月に一度、川の水を少しとり、水のよごれを調べる道具を使って調べています。この十六年間の活動で、実際に川の水は少しずつきれいになってきているんですよ。もっと水がきれいになって、ホタルにとってくらしやすい環境になれば、さらに数は増えると思います。
田中さん	そうですね。今よりももっとホタルが増えてくれればいいなと思います。それでは、次の質問をさせてください。

もう一回繰り返します。メモしたことを確かめながら聞きましょう。

（放送の繰り返し）

それでは問題用紙の二ページ目を開いて、問題に答えましょう。

一　放送を聞いて答える問題

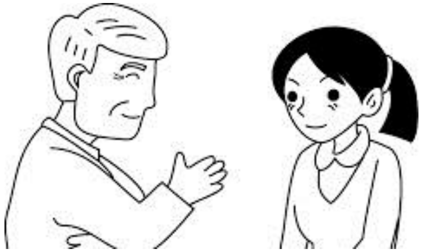
【メモ】

1　ホタルを守る会の山本さんたちがしている主な活動は、「川の水のよごれを調べること」の他に、もう一つありました。それは何ですか。書きましょう。

2　次は、インタビューの中にあった**【田中さんの発言】**です。田中さんは、どのように会話を進めようとしていましたか。次のア～エの中から、もっともふさわしいものを一つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

【田中さんの発言】

> 川の水のよごれを調べるとおっしゃいましたが、どのような方法で調べているのですか。



ア　理由が説明されていないことを、明らかにしようとしていた。

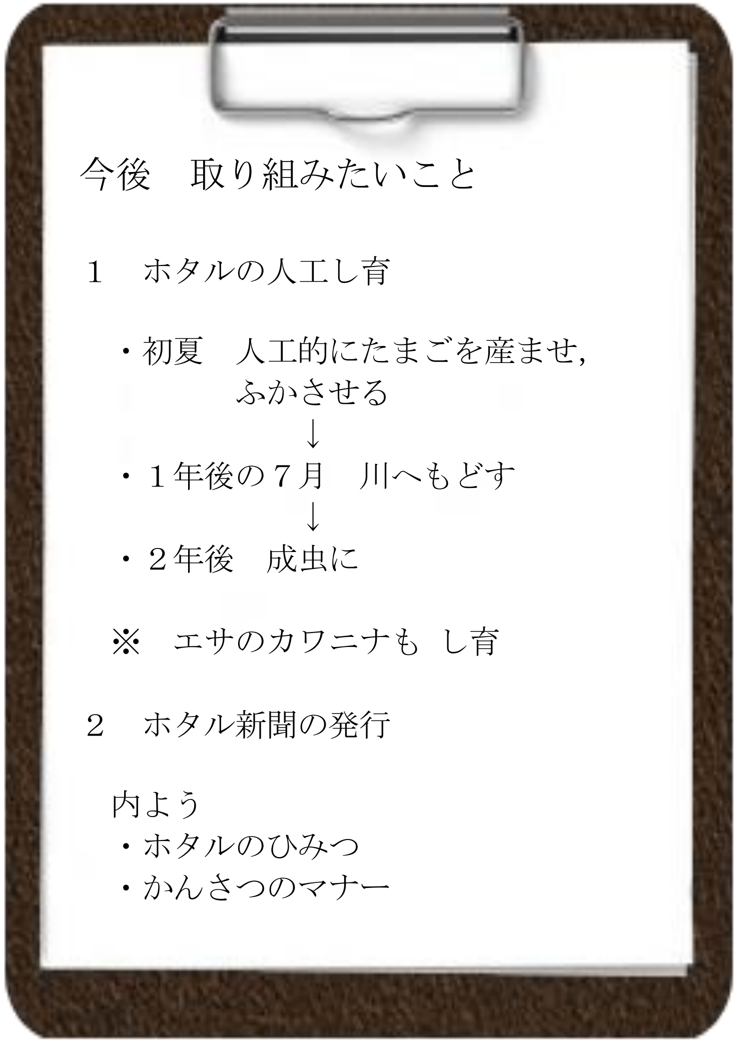
イ　自分の考えが伝わっているかどうかを、たしかめようとしていた。

ウ　知りたいことがらについて、さらにくわしく聞き出そうとしていた。

エ　自分の考えとのちがいを、相手に伝えようとしていた。

３　次は、田中さんが、「ホタルを守る会」の山本さんにインタビューの続きをしたときの**【田中さんのメモの一部】**です。田中さんは、分かりやすいメモにするためのくふうをしました。次のア～エの中から、このメモのくふうについて説明したものとして<u>当てはまらないもの</u>を一つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

【田中さんのメモの一部】



今後　取り組みたいこと

１　ホタルの人工し育

・初夏　人工的にたまごを産ませ，
　　　　ふかさせる
　　　　　↓
・１年後の７月　川へもどす
　　　　　↓
・２年後　成虫に

※　エサのカワニナも　し育

２　ホタル新聞の発行

内よう
・ホタルのひみつ
・かんさつのマナー

ア　聞きとった内容（ないよう）が分かるように、見出しを付けている。

イ　聞きとった内容を、数字や矢印などの記号を使って書いている。

ウ　話してくれた要点を、できるだけ短く書いている。

エ　話してくれたことに対する自分の意見や感想を書いている。

□

これで放送を聞いて答える問題を終わります。引き続き調査票の問題を行ってください。

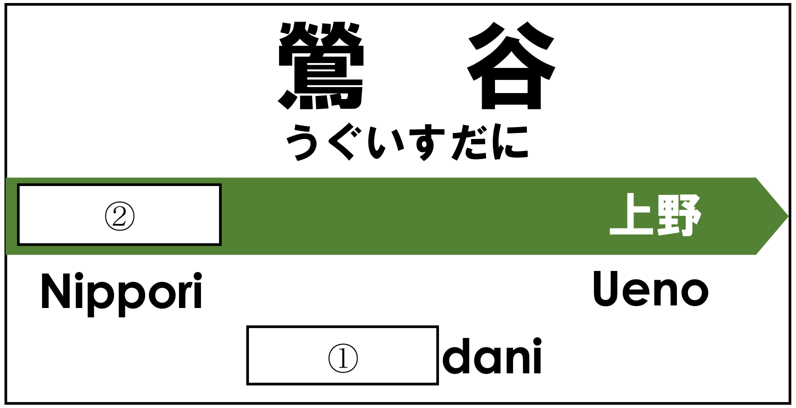
二　次の1・2の問いに答えましょう。

1　次の場面の［　　］に合うことわざとしてもっともふさわしいものはどれですか。
次の［　　］の中から一つ選び、［　　］の中に書きましょう。

ちりも積もれば山となる
ねこの手もかりたい
さるも木から落ちる

2　次は、【駅の案内板】です。(1)・(2)の問いに答えましょう。

【駅の案内板】



(1)［①］に当てはまる「うぐいす」というローマ字を書きましょう。

(2)［②］に当てはまる「Nippori」の読み方をひらがなで書きましょう。

三　次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

（椋　鳩十　「クリの実」による）

（椋　鳩十　「クリの実」による）

（椋　鳩十　「クリの実」による）

1　①うかんでの言葉の意味を、国語辞典を使って調べます。①うかんでのうかぶの言葉の意味は、次の【国語辞典の一部】のア～エのどれに当たりますか。もっともふさわしいものを一つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

【国語辞典の一部】

ア　うかぶ〈動〉しずまないで、水面にある。
イ　うかぶ〈動〉地上に落ちないで、空中にある。
ウ　うかぶ〈動〉表面にあらわれる。
エ　うかぶ〈動〉思い起こされる。

2　②・④のカタカナに当たる漢字を□の中に書きましょう。また、⑤の漢字の読みがなを□の中にひらがなで書きましょう。

②
④
⑤

3　次の文の**気づきました**に対する主語はどれですか。次のア～エの中から一つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

そのときになって、アはじめて、イなかまたちは、ウわたしのエうらぎりに**気づきました**。

4　③五、六歩、はなれてみました。という表現（ひょうげん）から、「わたし」のどんな様子が想像（そうぞう）できますか。次のア～エの中から、もっともふさわしいものを一つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

ア　にげられるかどうか、ためしている様子
イ　にげられるかどうか、楽しんでいる様子
ウ　仲間の会話に入れず、さびしがっている様子
エ　仲間の会話に入れず、おこっている様子

5 次に示(しめ)すのは、**【「わたし」の気持ちについて話している児童の会話】**です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【「わたし」の気持ちについて話している児童の会話】

山下　「わたし」は、ヨシ子を喜ばせたくて、クリを持ってにげたんだね。ヨシ子がほめてくれたから、「わたし」は大いばりしているよ。うれしかっただろうね。

金田　でもその後、「みんなの、心が、明るく、はずんでいくのを、見ているうちに、急に、キリリン、キリリンと、心がいたみはじめたのです。」とあるよ。「急に」とあるけど、とつぜん「わたし」の気持ちに変化が起きたみたいだね。

山下　それに、「わたし」が横になった場所が「（　**ア**　）」だと書かれている。どうやら「わたし」は、ふとしたことから何かに心をいためたため、気持ちがしずんできたようだね。

金田　その何かについてだけど、「今日のことが、みんな、ゆめであってくれればいいのに……」と書いてあることから考えると、ひとつだけではなさそうだね。
最後には、「おしりの先っぽから、頭のてっぺんまで、体じゅうの血が、さかさまに流れるような、なんともいえない、いやあな、はずかしさや、重苦しいものが、わたしの心も体も、ギリンギリンと、しめつけてくるのでした。」と書いてある。「ヨシ子」や「家の者たち」は喜んでいるのに、どうして「わたし」はそのようになったのだろう。

(1)　（　**ア**　）には、どのような言葉が入るでしょうか。（　**ア**　）に入るもっともふさわしい言葉を、文章中から十六文字でぬき出して書きましょう。（読点「、」も字数にふくみます。）

(2)　**【「わたし」の気持ちについて話している児童の会話】**の中で、金田さんは、「『ヨシ子』や『家の者たち』は喜んでいるのに、どうして『わたし』はそのようになったのだろう。」と言っています。あなたはどうして「わたし」がそのようになったと思いますか。あなたの考えを、次の**【注意】**にしたがって□の中に書きましょう。

【注意】

○　どのような出来事があったからなのか、分かるように書くこと。

○　その出来事から、「わたし」がどのような気持ちになっているか、あなたが想像したことを書くこと。

四　次の文章は、保健（ほけん）委員の山下さんが、「けがをした場所とけがの種類」について調べたことを、全校のみんなに報告（ほうこく）するためにまとめた文章です。あとの問いに答えましょう。

校内でのけがを少なくするために

広島小学校　五年　山下　とも子

一　［　①　］

わたしは、ほ健委員会に入っています。

当番の仕事をしていると、たくさんの人がけがをしてほ健室に来ることが分かったので、わたしは、けがをする人を少なくするために、校内のどこで、どんなけがをする人が多いのかを調べてみることにしました。

二　調べた方法

最近一週間で、ほ健室に来た人に、校内のどこで、どんなけがをしたのかアンケートをして調べました。

三　調べた結果

a けがをした場所とけがの種類について調べたことを表にまとめた。

【表】場所と種類別のけが調べ（人）

場所＼けがの種類	すりきず	切りきず	ねんざ	打ぼく	合計
運動場	6	1	0	3	10
体育館	3	0	1	3	7
階だん	0	0	3	2	5
ろうか	0	0	2	2	4
教室	0	1	0	0	1
合計	9	2	6	10	27

四　結果から分かったこと

表にまとめてみて分かったことは次の二点です。

○　運動場や体育館など、体を動かす場所では、すりきずや打ぼくが多いことが分かりました。

○　ろうかや階だんなど、い動するときに使う場所では、ねんざや打ぼくが多いことが分かりました。

五　［　②　］

これらのことから、遊び時間や体育の時間では、遊びや運動にむ中になって、転んだりぶつかったりする人が多いのではないかと考えます。また、階だんやろうかでは、い動するときに前を見ていなかったり、あわてたりしているのではないかと考えます。

みんなで、体を動かすときに気をつけることや、安全ない動の仕方を考え、ルールを決めるなど、けがをふせぐような取り組みを進めていくことが大切ではないでしょうか。

1　山下さんの文章の組み立てとして、①と②に入るふさわしいものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を□の中に書きましょう。

【山下さんの文章の組み立て】

一　①
⇩
二　調べた方法
⇩
三　調べた結果
⇩
四　結果から分かったこと
⇩
五　②

ア　結果の予想
イ　自分が考えたこと
ウ　次に調べたいこと
エ　調べた目的

①［　　］

②［　　］

2　山下さんは、まとめた文章を読み、よりよい文章になるように書き直すことにしました。次の(1)～(3)の問いに答えましょう。

(1)　山下さんは、文章の□にある次の文を、つなぎ言葉を使って二つの文に分けることにしました。イの（　）につなぎ言葉を入れて、ア・イの□の中に一文ずつ書きましょう。（　）に入れるつなぎ言葉は、次の□の中から選んで書きましょう。

□の部分

当番の仕事をしていると、たくさんの人がけがをしてほ健室に来ることが分かったので、わたしは、けがをする人を少なくするために、校内のどこで、どんなけがをする人が多いのかを調べてみることにしました。

ア［　　　　］

イ（　　　）、［　　　　］

ところで　・　しかし　・　そこで

(2) a けがをした場所とけがの種類について調べたことを表にまとめた。の文の終わりを他の文の終わりと同じ書き方になるように、□の中に書き直しましょう。

けがをした場所とけがの種類について調べたことを表にまとめ□。

(3) 文章の終わりにある□の部分は、どのようなくふうをして書いていますか。そのくふうを説明したものとしてもっともふさわしいものを、次のア〜エの中から一つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

ア　自分が考えたことをもとにして、解決方法を提案している。

イ　読み手を説得するために、図を用いながら自分の考えを書いている。

ウ　自分の考えにより共感してもらおうと、本の一部を引用している。

エ　読み手にけがの様子をくわしく伝えるために、自分の体験を取り上げている。

□

問題は、次のページにもあります。

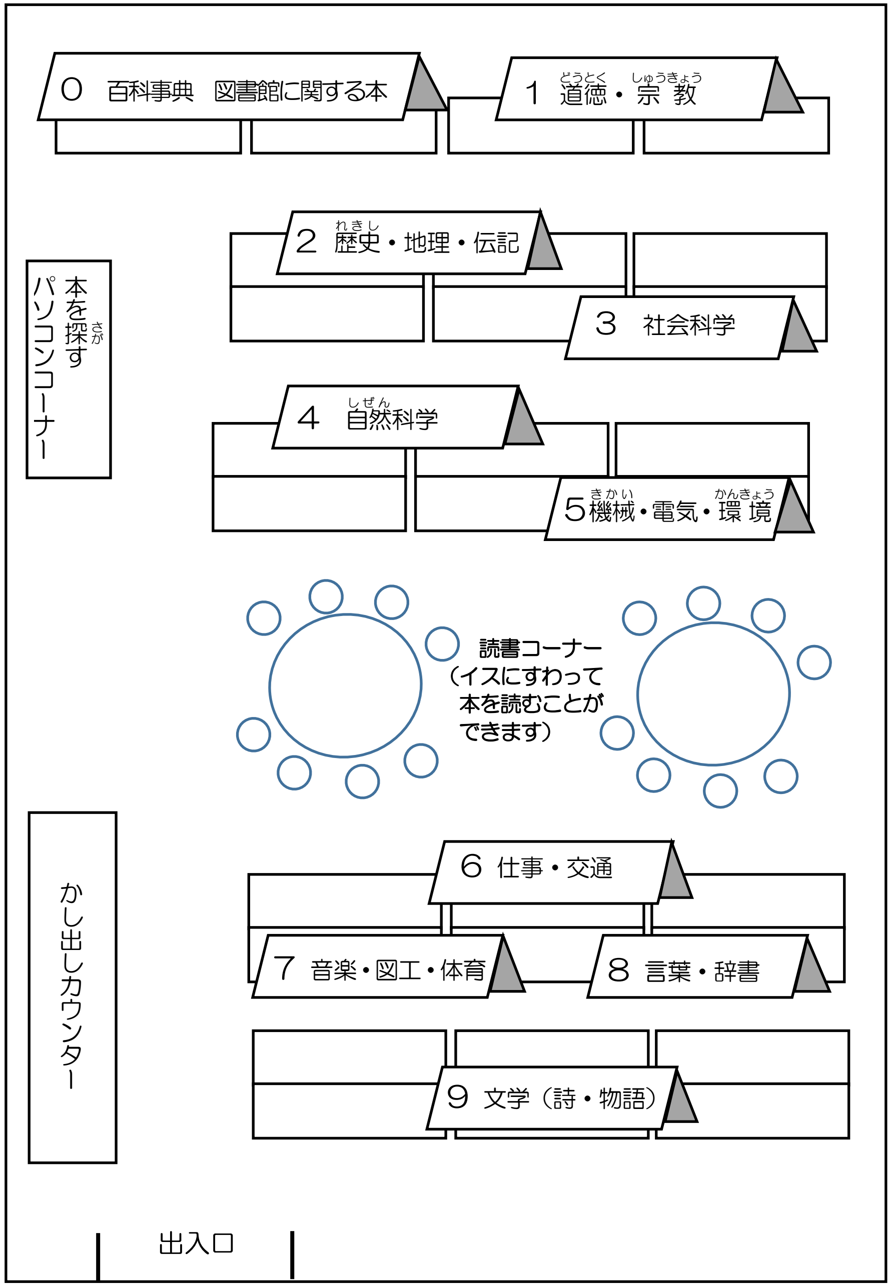
五　体育係の石川さんと山口さんは、学級の友達から体育に関するなやみを聞き、アドバイスをする「なやみかいけつ新聞」を作っています。今月は、次のような二つのなやみが出されました。

> **なやみ**　（名前）山本よう子
>
> わたしは、さか上がりがうまくできません。足を思いきりふり上げても、すぐ落ちてしまいます。どんな練習をしたらうまくできるようになりますか。

> **なやみ**　（名前）上田つとむ
>
> ぼくは、さか上がりで足をふり上げて回るところまではできるのですが、体を起き上がらせることができません。どんな練習をしたらうまくできるようになりますか。

そこで、まず、石川さんと山口さんは、アドバイスに必要な資料を集めるために、学校の近くの図書館に出かけました。次は、【図書館の案内図】です。

【図書館の案内図】



１　石川さんと山口さんが、アドバイスに必要な資料をさがすためには、図書館のどの場所へ行くのがよいでしょうか。【図書館の案内図】の中の、０～９の中から一つ選び、その番号を□の中に書きましょう。

□

次は、石川さんと山口さんが図書館で読んだ【鉄ぼうに関する読み物の一部】です。

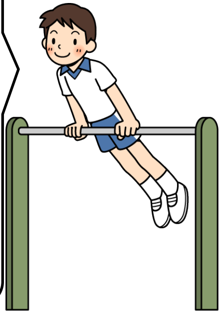
【鉄ぼうに関する読み物の一部】

ヒントがいっぱい！これできみもさか上がり名人！

さか上がりの手順

鉄棒の絵

①地面をける　②足をふり上げる　③ももを鉄ぼうにのせる　④起き上がりささえる　⑤着地する



きみは、どの部分がむずかしいかな？つまずきチェックをしてみよう。

つまずきチェック

ふり上げた足が落ちてしまう！	足をふり上げた時に体がそってしまう！	起き上がれない！
ここがポイント	ここがポイント	ここがポイント
ふり上げた足が鉄ぼうからはなれていると，足がうまく上がらない。鉄ぼうの上をけるつもりで，足をふり上げよう。	体がそってしまうと，うでがのびてしまい，鉄ぼうからこしがはなれてしまう。あごを引いておへそを見るようにしよう。	うでの使い方が悪いと，起き上がれない。うでをのばすようにして鉄ぼうをおしながら上半身を起こそう。

鉄ぼう名人　池田さんのおすすめ練習法

足をふり上げる練習	あごを引く練習	上半身を起こす練習
ふり上げたひざで自分のおでこをけるようにして，足をふり上げる。	あごにハンカチをはさんで，鉄ぼうをもち，おへそを鉄ぼうにつける。	鉄ぼうにおなかをかけ，ぶらさがったじょうたいから体を起こす。

家でもできる練習があるよ！

さか上がりができるようになるための練習には，家でもできるものがたくさんあります。

たとえば，足をふり上げるためには，足で地面をけり上げる力も必要ですが，これには，片足で立ち，体の前でのばした足を高くけり上げる練習がおすすめです。

おへそを鉄ぼうに近づけることができるようになるには，ふとんの上で，ダンゴ虫のように体を丸め，こしを上げる練習がおすすめです。

上半身を起こすためには，うでの力も必要ですが，これには，うつぶせになって，足をもってもらい，手の力だけで前へ進んでいく手おし車の練習がおすすめです。

2　【鉄ぼうに関する読み物の一部】にある「足をふり上げた時に体がそってしまう！」というつまずきを解決（かいけつ）するには、「鉄ぼう名人　池田さんのおすすめ練習法」のどの練習に取り組むのがよいでしょうか。もっともふさわしいものを、次のア～ウの中から一つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

ア　足をふり上げる練習
イ　あごを引く練習
ウ　上半身を起こす練習

□

石川さんと山口さんは、**【鉄ぼうに関する読み物の一部】**をもとにして、「なやみかいけつ新聞」を作りました。次は、二人が作った**【なやみかいけつ新聞】**です。

【なやみかいけつ新聞】

なやみかいけつ新聞

発行者　石川あや
　　　　山口つとむ

今月は、さか上がりについてのなやみが出されました。そのなやみにお答えします。

山本さんのなやみにお答えします！

わたしは、さか上がりがうまくできません。足を思いきりふり上げても、すぐ落ちてしまいます。どんな練習をしたらうまくできるようになりますか。

体育係からのアドバイス

ふり上げた足が鉄ぼうからはなれていると、足がうまく上がりません。鉄ぼうの上をけるつもりで足をふり上げましょう。

おすすめの練習法は、ふり上げたひざで自分のおでこをけるようにして、足をふり上げることです。

家でもできる練習には、足で地面をけり上げる力をつけるために、片足で立ち、体の前でのばした足を高くけり上げる練習があります。

石川あや

上田さんのなやみにお答えします！

ぼくは、足をふり上げて回るところまではできるのですが、体を起き上がらせることができません。どんな練習をしたらうまくできるようになりますか。

体育係からのアドバイス

B

山口つとむ

3　山口さんは、上田さんへのアドバイスを書いています。**B**にはどのような内容が入りますか。ふさわしい内容を、次の**【注意】**に合わせて書きましょう。

【注意】

○　**【鉄ぼうに関する読み物の一部】**を使って書くこと。

○　石川さんの文章の組み立てを参考にし、三段落（だんらく）で書くこと。

これで問題は終わりです。